環境経営レポート 2022

"私たちは、CO2排出ゼロを目指します"

期間: 2021年12月~2022年11月

発行日: 2023年1月30日



目 次

- 1. 事業活動の概要
- 2. 対象範囲・対象期間及び組織
- 3. 環境経営方針
- 4. 環境経営目標
- 5. 環境活動計画
- 6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み
- 7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果
- 8. 経営者による評価と見直し指示



1. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

旭光通信システム株式会社 代表取締役 社長 酒井 元晴

2) 所在地

・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ヴェルビュ溝の口 4F

・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35 設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40

- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 7F
- ·北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西5-2-12 住友生命札幌ビル8F
- 3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 正行

連絡先 電話 0178-20-5540 (代表) FAX 0178-20-5569

URL http://www.kyokko-tsushin.co.jp E-mail m.hara@kyokko-tsushin.co.jp

4) 創立年月及び資本金

設立:1946年6月 資本金:2,520万円

5) 事業内容

各種情報通信装置、機器のシステム開発・設計・製造並びに工事

6) 事業規模

項目	単位	2021 年 2020.12.1~2021.11.30	2022 年 2021.12.1~2022.11.30
工場延べ床面積 m ^d		2,430.46	2,430.46

2. 対象範囲・対象期間及び組織

1) 対象範囲

・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ヴェル゙ュ溝の口 4F

・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35

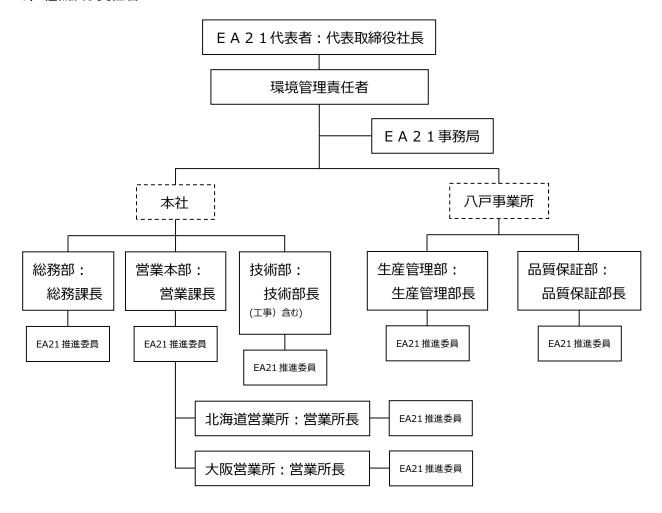
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40

第二工場(BB) 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6 (2023 年に拡大予定)

- ·大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 7F
- ·北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西5-2-12 住友生命札幌L*1/8F
- 2) 環境経営レポート 対象期間

2021年12月1日 ~ 2022年11月30日

3) 組織及び責任者



4) 青仟と権限

組織の対象者	役割・責任・権限				
	①環境経営方針を策定する				
	②効果的で必要十分な実施体制を構築する				
	③環境管理責任者を任命する				
社長	④環境経営目標及び環境活動計画を承認する				
	⑤環境経営システムの運用に必要な資源を提供する				
	⑥環境経営システムの評価および見直しを指示する				
	⑦経営における課題とチャンスの明確化を行う				
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、運用の責任と権限を有する				
块块	②運用状況全体を把握し、社長へ報告する				
	①環境経営システムの構築、運用に関して管理責任者を補佐する				
事務局	②環境経営システムに関する記録を保持する				
	③外部内部からの問合せ、苦情等の窓口業務を行う				
部門責任者	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関する活動を実行する				
部门具作名 	②環境管理責任者の指示事項を実行する				
E A21 推進委員	①部門における活動状況の報告を行う				
CAZI 推進安貝	②部門での EA21 活動を推進する				
従業員	①部門長からの指示事項について実行する				

3. 環境経営方針

エコアクション 21

環境経営方針

環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取組む。

基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の 柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

- 1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
- 2. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守する。
- 3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - 1)省エネルギー(電力、化石燃料)を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
 - 2) 廃棄物発生の低減と3R (Reduce 削減、Reuse 再利用、Recycle 有効利用)を推進する。
 - 3) 資源の有効活用を推進し、水、紙の使用量低減を図る。
 - 4) 化学物質使用(シンナー)の適正管理を推進する。
 - 5)環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
 - ①環境配慮設計の推進
 - ②コストダウンVEの推進
 - ③グリーン購入の推進
 - ④工程内仕損の低減
- 4. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定:2019年12月1日 改訂:2022年12月1日 旭光通信システム株式会社 代表取締役社長 酒井 元晴

4. 環境経営目標

4. 1 中期環境経営目標 *1 基準は 2021 年(76 期)とする

取組項目		単位	部門	2021 年実績 (基準)	2022 年目標	2023 年目標	2024 年目標	
CO2 排出量削減		Kg- CO2	全体	193,790	153,225(21%減)	(25%減)	(29%減)	
	*4	0.441		本社	31,491	31,176(1%減)	30,861(2%減)	30,546(3%減)
雨力体田	排	0.374		*2 八戸	279,734	265,747(5%減)	(10%減)	(15%減)
電力使用 量削減	出	0.521	Kwh	*3 BB	-	データ取得	設定	設定
里別/吼 	係	0.318		大阪	2,738	2,711(1%減)	2,683(2%減)	2,656(3%減)
	数	0.601		北海道	1,335	1,322(1%減)	1,308(2%減)	1,295(3%減)
				本社	9,535	9,439(1%減)	9,344(2%減)	9,249(3%減)
 カ゛ソリン <u> </u>	⊯┐⊑	5水1/2 1/,	_	*2 八戸	3,898	3,781(3%減)	3,742(4 減)	3,703(5%減)
עניל ע	ب	≗月リ <i>沙</i> 戍	l	*3 BB	-	データ取得	設定	設定
				大阪	1,849	1,831(1%減)	1,812(2%減)	1,794(3%減)
灯油開	【入量	削減	e	八戸	1,439	1,410(2%減)	1,381(4%減)	1,353(6%減)
			Kg	本社	383	375(2%減)	368(4%減)	364(5%減)
一般序	棄物	削減		*2 八戸	1,030	978(5%減)	968(6%減)	958(7%減)
				*3 BB	-	データ取得	設定	設定
産業原	発棄物	別削減	Kg	本社 工事含む	3,858	1,800(53%減)	1,736(55%減)	1,659(57%減)
				八戸	2,814	2,758(2%減)	2,701(4%減)	2,645(6%減)
-\r/.f=	用量	41\ ct	m³	*2 八戸	620	614(1%減)	(2%減)	(3%減)
小汉	(用里I	ヨリ//攻	111	*3 BB	1	データ取得	設定	設定
O A %IE	# 7 与	■ 出心 儿	枚	本社	112,500	78,400(30%減)	(32%減)	(38%減)
	OA 紙購入量削減		/ /X	八戸	177,500	205,800(16%増)	(14%増)	(12%増)
化学物質購入量削減		l	八戸	4	維持	50%減	50%減	
グリーン購入の推進		品目	総務	5	10 品目追加	5 品目追加	5 品目追加	
環境配慮	憲設計	の推進	件	技術	3	6	7	8
仕掛	員の低	減	千円	生管	123	117(5%減)	111(10%減)	105(15%減)

^{*1} 基準年を 2019 年、一部を 2020 年としていたが 2021 年に変更して統一する。*2 2022 年(77 期)BB(第二工場)稼働に 伴い、影響が出る項目。*3 BB(第二工場関連)は1年間データ取得期間とする。(2022年5月~)

【主な施策】

(1) 二酸化炭素排出量の削減

不使用時電力削減策の徹底、エアコンの運用管理、エコドライブの啓蒙、社有車の適正使用など

(2) 廃棄物排出量の削減

仕損/工場工程内不良の削減、3R活動の推進、有価物への転換、ペーパーレス/電子化など

(3) 水使用量の削減

節水意識の喚起など

(4) 化学物質使用量の削減

トルエンレス剤への変更検討

(5)環境改善

製品の環境配慮設計など

^{*4} 排出係数は、R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17 一部修正による

5. 環境経営計画 スローガン: 私たちは、CO₂排出ゼロを目指します

No.	取組項目	取組む内容	日程	責任者
1	電力使用量削減	・エアコンの運用管理 ・照明は不使用時/場所の消灯 ・OA 機器の省電力設定 ・クールビズ、ウォームビズの展開	月度管理	本社、八戸:総務部長 大阪、北海道:営業所長
2	ガソリン購入量削減	・エコドライブの啓蒙・社有車の適正使用		本社、大阪:営業課長、営業所長 八戸:総務部長
3	灯油購入量削減	・温度管理 ・暖房機器の適正使用	(エコアクション	八戸:総務部長
4	一般廃棄物削減	・分別(リサイクル)の推進) / ₂	本社、八戸:総務部長
5	産業廃棄物削減	・3 Rの推進 ・処理業者での分別推進	ショ	本社、八戸:総務部長
6	水使用量削減	・節水の啓蒙	」シ	八戸:総務部長
7	OA 紙購入量削減	・ミスコピー防止啓蒙 ・社内文書のペーパレス化の推進 ・電子化の推進	21 活動	本社、八戸:総務部長
8	化学物質購入量削減	・購入量の見直し ・代替品の検討	 施	生産管理部長
9	グリーン購入の推進	・文房具/生活用品のグリーン購入推進	表	総務部長
10	環境配慮設計の推進	・小型化製品の設計 ・軽量化製品の設計 ・リサイクル部品を使用した製品設計 ・省電力製品の設計	活動実施表による)	技術部長
11	仕損の低減	・仕損不良削減策の実施		生産管理部長

6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み

達成率での評価。評価:100%以上"〇"、99~80%"△"、<mark>80%未満"×"</mark>

	取組工	頁目	単位	部門	2021 年 実績(基準)	2022 年 目標	2022 年 実績	達成率%	評価
CO	2排出	量削減	Kg-CO ₂	全体	193,790	153,225	144,497	106	0
		-		全体	(315,298)	(300,956)	(265,902)	-	-
電力	· 排	0.441		本社	31,491	31,176	35,374	88	\triangle
使用	出	0.374	KWh	*1 八戸	279,734	265,747	226,704	117	0
量削	係数	0.421	KVVII	*2 第二工場	-	-	(81,811)	-	-
減	女人	0.318		大阪	2,738	2,711	2,708	100	0
		0.605		北海道	1,335	1,322	1,116	118	0
				全体	(15,282)	(15,051)	(16,883)	-	-
				本社	9,535	9,439	9,981	95	\triangle
カ゛ソリ	い購入	、量削減	L	*1 八戸	3,898	3,781	5,516	69	X
				*2 第二工場	-	-	(87)	-	-
				大阪	1,849	1,831	1,386	132	0
灯泪	購入	量削減	لــ	八戸	1,439	1,410	1,369	103	0
			Kg	全体	(1,413)	(1,353)	(1,404)	-	-
	0	物削減		本社	383	375	306	123	0
נעת	以光米	:7/ルリールリルリルリル		*1 八戸	1,030	978	1,098	89	\triangle
				*2 第二工場	-	-	(37)	-	-
☆ *	生成芸	物削減		全体	(6,672)	(4,558)	(3,784)	-	-
		初削減 事含む)	Kg	本社	3,858	1,800	426	423	0
(4)	1114工	() ()		八戸	2,814	2,758	3,358	82	\triangle
74	/市田 5	引量削減 mi		*1 八戸	620	614	506	121	0
)文用 !	基月1/ 队	111	*2 第二工場	-	ı	(72)	-	-
	OA 紙購入量削減			全体	(290,000)	(284,200)	(275,500)	-	-
OA A			枚	本社	112,500	78,400	76,000	103	0
				八戸	177,500	205,800	199,500	103	0
化学物	物質購	入量削減	L	八戸	4	維持	4	100	0
グリー	-ン購	入の推進	品目	総務	5	10	6	60	×
環境西	記慮設	計の推進	件	技術	3	6	4	67	×
ſ	土損の	低減	千円	生管	123	117	104.5	112	0

^{*1 2022} 年実績には第二工場は含まない。*2 第二工場は 2022 年 5 月~2022 年 11 月までの実績

6.1 二酸化炭素排出量

2022年(77期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs	
153,225Kg-CO ₂ 144,497Kg-CO ₂		106% / 〇	11 and 12 and 13 and 14 and 15	
結	果	今後の取組み		
・目標達成。但し、5 月から製造	部門の一部が第二工場へ移管	・電気使用量が二酸化炭素排出量に大きく寄与する為、省エネ		
となり、そのデータが含まれない「	中での達成でした。	行動を啓蒙します。		
・二酸化炭素排出に起因する電	気は 3/4 拠点、ガソリンは 1/3	・省エネ最適化診断の結果を活動計画に反映します。		
拠点、灯油は 1/1 拠点の達成	は状況でした。	・目標設定は八戸第二工場分を加味し再設定を行います。		

【年度別推移】 ___ : 目標ライン



【2022年 実績推移】



6.2 電力使用量

2022年(77期)目標値 実績		達成率/評価	SDGs	
300,956KWh	265,902KWh	113% / 〇	7 ************************************	
結	果	今後の取組み		
道は人員減による減少、本社に伴う増加要因がありました。 ・7 月に全社でパソコンの省エネ	一部が第二工場 へ移管、北海 はテレワークからの勤務形態の変更 設定、7 月〜9 月でエアコン運転 たが、本社は猛暑が続き徹底でき	・循環扇/サーキュレーター(・ドレインヒーター調節器の)・日標設定は八戸第二下		

【年度別推移】 ___ : 目標ライン

ませんでした。大阪の猛暑影響の中での達成は評価できます。



【2022年 実績推移】



【**拠点別推移】 —** : 目標ライン **〈本社〉**





〈八戸〉





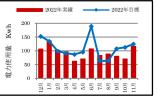
<大阪営業所>





<北海道営業所>





6.3 ガソリン購入量

2022年(77期)目標値	上期実績	達成率/評価	SDGs	
15,051 L	16,883 L	89% / △	7 11 12 13 22 A	
結	课	今後の取組み		
	が増加しました。(本社、八戸) 「不通による遠方への車使用の増	考慮します。 ・社有車の更新を計画しま	使用での考慮)及び効率的運用を	

【年度別推移】 — : 目標ライン

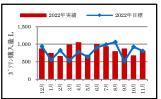


【2022年 実績推移】



【**拠点別推移】 —** : 目標ライン **〈本社〉**





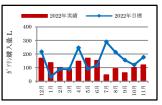
〈八戸〉





<大阪営業所>



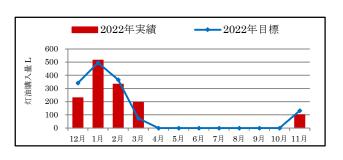


6.4 灯油購入量

2022年(77期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs	
1.410 L	1,369 L	103% / 〇	11 and 13 and 14 and 15	
結	果	今後の取組み		
・目標達成。 ・昨年より平均気温が低い中、明った結果です。また目標値を意	爰房の使用管理、温度管理を行 識した購入計画がありました。	・暖房に灯油を併用していた部門の第二工場移管に伴い、目標値の再設定を行います。 ・灯油暖房からエアコンへの切換えを検討します。		

【年度別推移】 — : 目標ライン





6.5 廃棄物排出量

6.5.1 一般廃棄物

2022 年(77 期)目標値 実績		達成率/評価	SDGs	
1.353Kg 1,404Kg		96% / △	11 2 4055 A	
結	果	今後の取組み		
・目標未達成。(本社:達成、八 ・八戸は技術の整理及び第二エ ・本社、八戸とも顕在化している タオルの廃棄があり、ペーパータオルを	場移管に伴う排出がありました。 一般廃棄物に使用済みペーパー	・引き続き廃棄物の分別を・目標設定は八戸の第二	:行います。 工場分を加味し再設定を行います。	

【年度別推移】 — : 目標ライン



【2022 年 実績推移】



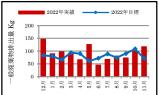
【**拠点別推移】 —** : 目標ライン **〈本社〉**





〈八戸〉





6.5.2 産業廃棄物

2022年(77期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs	
4,558Kg	3,784Kg	120% / 〇	9 ****** 11 ******	
結	果	今後の取組み		
とから、本社の目標値を見直し	上は排出が伴う工事案件がないこ	・引き続き有価物への転接・排出が伴う工事案件を 分を変更し、目標値の見	鑑み、本社と八戸の個別目標値の按	

【年度別推移】 ――: 目標ライン



【2022年 実績推移】



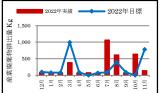
【**拠点別推移】 — :** 目標ライン **〈本社〉**





〈八戸〉





6.6 省資源

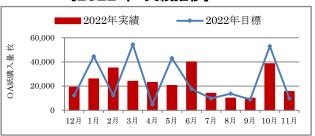
6.6.1 OA 紙購入量

2022年(77期)目標値	実績	達成率/評価	SDG s	
284,200 枚	275,500 枚	103% / 〇	11 2:002 15 5:00 15 5:00 A	
結	· ·果	今後の取組み		
少、八戸は技術案件(提案会の動きとして、紙ベースでの確認	社は受注案件減による購入量減 含む)の増加及び設計品質向上 忍を行い記録としている為、購入 にり、全体目標は変えずに本社と	・ミスコピーは引き続き啓蒙・全社での年間目標は維持変更し、目標の見直しを行	詩し、本社と八戸の個別目標の按分を	

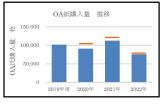
【年度別推移】 --- : 目標ライン

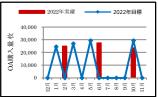


【2022年 実績推移】



【**拠点別推移】 — :** 目標ライン **〈本社〉**











6.6.2 水使用量

2022 年(77 期)目標値 実績		達成率/評価	SDGs	
614 m 506 m		121% / 〇	6 sentin	
結	:果	今後の取組み		
・目標達成。 ・水使用はトイレ、生活水が主なの、5月以降第二工場移管に	・為、節水の啓蒙活動はあるもの 伴う人員減の要素があります。	・引き続き啓蒙活動を継続・目標設定は八戸の第二	します。 工場分を加味し再設定を行います。	

【年度別推移】 ___ : 目標ライン



【2022年 実績推移】



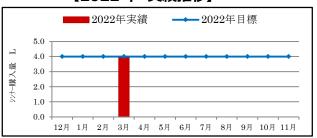
6.7 化学物質購入量 ---: 目標ライン

2022年(77期)目標値	上期実績	達成率/評価	SDGs	
4 L	4 L	100% / 〇	12 (1)56	
結	果	今後の取組		
・目標達成。 ・製品としてシンナーがあるが、素最小限の購入と代替品の選定 ・代替品の選定はトルエンレスの用対効果が見い出せず採用に	を行いました。。 製品で評価まで行いましたが、費	・管理対象物質はシンナー目し、指標にトルエン量を	に含まれるトルエンの為、トルエンに着 追加した目標値とします。	

【年度別推移】 --- : 目標ライン



【2022年 実績推移】



6.8 各部門の環境改善実績

達成率での評価。評価:100%以上"〇"、99~80%"△"、80%未満"×"

【総務部】

rio so M. 3					
改善項目	2022 年(77 期)目標値		実績	達成率/評価	
グリーン調達の推進	新規 10 品目追加		6 品目	60% / ×	
結果			今後の取組み		
 ・目標未達成。 ・新規 6 品目追加となり、2019 年からの活動として累計で 59 品目をグリーンマーク品に切り替えました。日常的に使用する物品についてはグリーンマーク品に切り替えることができました。 		の目標はヹ	使用する物品の切換えが完了し ∑案せず、グリーンマーク品の優 えを検討します。		

【技術部】

改善項目	2022年(77期)目標値		実績	達成率/評価	
環境配慮設計の推進	6 件		4 件	67% / ×	
結果			今後の取組み		
・目標未達成。 ・部材入手難に伴う設計変更が多く、その時に入手できる部材で 設計を行うしかないのが実情でした。その中でも製品機能に着 目し環境配慮設計を適用できた製品がありました。			設計においては、新規設計品 へ盛り込み提案を行います。	の提案段階から意識	

【生産管理部】

改善項目	2022 年(77 期)目標値		実績	達成率/評価
仕損費の低減	117 千円		104 千円	112% / 〇
結果		今後の取組み		
・目標達成。 ・発生件数としては前期 105 件に対して 63 件とおおよそ 40% 削減できている。仕損費のうち 66%が板金での発生となっており、仕損費を押し上げました。			対して真因分析から対策できる 早い段階で問題を発見できる	

6.9 その他の環境関連活動

地域活動:八戸ハイテクパーククリーン作戦への参加

八戸グリーンハイテクランド内および周辺の清掃活動に参加し、ハ イテクパークの環境美化に貢献しました。





敷地内活動:清掃活動と旭光農園

八戸事業所内の清掃活動と旭光農園を整備し環境維持に努めました。





6.10 環境経営目標及び環境経営計画の総括

総括	評価
2022年(77期)は、前回の経営者の見直し指示に従い目標値の基準を2022年(76期)に統一し、単年度及び中期経営計画の見直しを行いました。活動の啓蒙(行動)を推進するため、全従業員への教育と各部門の推進委員による活性化組織を結成し行動しました。2022年(77期)は、「人の手による省エネ行動の徹底」を掲げ、無意識の省エネ行動になるように行動を展開してきました。環境経営目標の結果としては、活動スローガンである「私たちは CO2排出ゼロを目指します」に起因する、電気は3/4拠点で目標達成、化石燃料のうちガソリンは1/3拠点での目標達成となりました。ガソリンは八戸が大幅な目標未達成となりましたが、自然災害による公共交通機関の不通や営業活動の活発化、第二工場への往来の増加が要因としてありました。但し、この結果には2022年5月稼働した八戸第二工場分は含まれておらず減少/増加の要因となりました。また、各部門の改善活動については、一部を除き目標未達成となり、指標や環境経営計画の変更が必要と考えます。環境経営計画の総括としては、4月以降一般廃棄物の増加要因であったペーパータオルの廃止、7月に全社でパソコンの省エネ設定、7月~9月でエアコン運転の終業30分前のFFの実施、8月以降産業廃棄物の有価物への転換を推進しました。この他、9月に省エネ最適化診断を受け、提案事項は「CO2排出ゼロ」に向けた工程表に反映し進めていきます。2022年は5月に八戸第二工場が稼働したことによる影響として電気、ガソリン、一般廃棄物、水が増加要因となることか	<u>計</u> 個
ら、2023 年から目標値に反映して活動を行います。これに伴い 2023 年中に第二工場のサイト認証を行います。また、従来の拠点ごとの目標設定でしたが、会社全体の目標も加え全体での削減に取り組みます。	

6.11 2023 年 (78 期) 目標値検討

0.11 Z0Z3 + (/(TAN HIM					
取組項目	単位	部門	2021 年実績 (基準)	2022 年目標	2023 年目標	2024 年目標
CO2 排出量削減	Kg-CO2	全体	193,790	153,225(21%減)	209,799(8.3%增)	205,149(5.9%增)
		全体	315,298	300,956(4.5%減)	335,451(6.4%增)	327,772(4%增)
		本社	31,491	31,176	30,861	30,546
*2 電力使用量削減	Kwh	*1八戸	279,734	265,747	299,260	293,275
		大阪	2,738	2,711	2,683	2,656
		北海道	1,335	1,322	1,308	1,295
		全体	15,282	15,051(1.5%減)	16,224(6%增)	16,060(5%增)
) ガソリン購入量削減	l	本社	9,535	9,439	9,344	9,249
1 777時八里別城	e e	*1八戸	3,898	3,781	5,068	5,017
		大阪	1,849	1,831	1,812	1,794
灯油購入量削減	l	八戸	1,439	1,410(2%減)	400(72%減)	0(100%減)
		全体	1,413	1,342(5%減)	1,398(1%減)	1,371(3%減)
一般廃棄物削減	Kg	本社	383	375	368	364
		*1八戸	1,030	978	1,030	1,007
		全体	6,672	4,558(32%減)	4,437(33%減)	4,304(35%減)
産業廃棄物削減	Kg	本社 工事含む	3,858	1,800	1,736	1,659
		*1八戸	2,814	2,758	2,701	2,645
水使用量削減	m	*1八戸	620	614(1%減)	614(1%減)	614(1%減)
O 4 紅珠 3 是判决	+/-	全体	290,000	284,200(2%減)	278,500(4%減)	272,500(6% 減)
OA 紙購入量削減	枚	本社	112,500	78,400	77,000	74,500
		*1 八戸	177,500	205,800	201,500	198,000
化学物質購入量削減	L	*1 八戸	4	維持	維持(トルエン 2L以下)	維持(トルエン2L以下)
グリーン購入の推進	品目	総務	5	10 品目追加	グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入
環境配慮設計の推進	件	技術	3	6	7	8
仕損の低減	千円	生管	123	117(5%減)	111(10%減)	105(15%減)

^{*1} 八戸に第二工場を含む。 *2 排出係数は、R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17 一部修正による。

7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果

7.1 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果

法規制	内容	確認結果	評価
消防法	①消防設備の定期点検 ②消防訓練実施	①八戸は5月、11月に点検を実施し異常はありませんでした。本社及び北海道は1月、3月、大阪は11月にビルにて点検を実施しています。 ②本社は5月、11月、八戸は9月に訓練を実施し手順に問題はありませんでした。	遵守
産業廃棄物処理法	①許可証の有効性 ②マニフェスト交付保管 ③マニフェスト交付等状況報告書	①許可証の有効期限切れはありませんでした。 ②マニフェストの保管に問題はありませんでした。 ③本社、八戸とも期限内に提出され問題ありませんでした。	遵守
净化槽法	①法定検査実施 ②保守点検	①設計棟は 2021 年 12 月、八戸は 1 月に検査を実施し水 質等に異常はありませんでした。 ②2021 年 12 月、3 月、6 月、9 月に保守点検し必要事項 に対しては処置を行いました。	遵守
騒音規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①4 月に第二工場への設備移管の届出を行いました。 ②八戸市の規制値内(第 4 種区域)を確認しました。	遵守
振動規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①4 月に第二工場への設備移管の届出を行いました。 ②八戸市の規制値内(第2種区域)を確認しました。	遵守
水質汚濁防止法	①貯油施設の自主点検	①2021 年 12 月、3 月、6 月に自主点検を実施し異常は ありませんでした。	遵守
Iネルギーの使用の合理化 等に関する法律	①エネルギーの使用合理化	①エコアクション 21 活動実施表により実績を把握していました。	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	①事業活動に伴う排出抑制	①エコアクション 21 活動実施表により実績を把握していました。	遵守
資源の有効な利用の促 進に関する法律	①リサイクルルートに従った廃棄	①対象品はありませんでした。	遵守
特定家庭用機器再生 商品化法	①法律に基づく処理	①対象品はありませんでした。	遵守
使用済み自動車の再資 源化等に関する法律	①法律に基づく処理	①対象車はありませんでした。	遵守
70)類の使用の合理化 及び管理の適正化に関 する法律	①エアコンの簡易点検 ②法律に基づく処理	①2021 年 12 月、2022 年 3 月、6 月に簡易点検を実施 し問題はありませんでした。 ②対象品はありませんでした。	遵守
労働安全衛生法	①特定自主検査 ②月次自主検査	①6月にフォークリフトの特自検を実施し異常はありませんでした。 ②フォークリフト、チェーンブロックの月次検査で異常はありませんでした。チェーンブロックは5月の第二工場稼働に伴い廃止しました。	遵守

7.2 環境関連法規制に関する最新版確認結果

MARCHE MINISTER A CHAMMAN CHAMMAN	
確認結果	評価
年 4 回(2 月、5 月、8 月、11 月)に改正状況の確認を行った結果、30 件の法律/政令/省令、4 件の条例/規則、9 件の改正がありましたが、当社の事業活動に直接影響を及ぼす改正はありませんでした。	0

7.3 外部コミュニケーションの結果

- 10 11 H = 4== 1	
確認結果	評価
2021 年 12 月〜2022 年 11 月までの期間において本社及び工事関連、八戸事業所、大阪営業所、北海道営業所において、苦情はありませんでした。	0

8. 経営者による評価と見直し指示

8.1 前回の指示に対する取組み結果

見直し項目	前回の見直し指示内容	指示内容に対する取組み結果
環境経営方針	・方針の環境負荷低減活動の内容は計画と の整合性をとること。	・実情に即した現活動計画と照合し環境 経営方針の見直しを行いました。
環境経営目標及び環境経営計画	・目標達成状況においては中期計画を達成 している項目がある為、見直しを行うこと。 ・環境経営計画は徹底できるような工夫や 新たな展開を検討すること。	・環境経営目標の基準を 2021 年(76 期) に統一し、新たに目標設定を行いました。 ・計画を徹底するため、エコアクション 21 推 進委員による活性化組織を結成し、定例 会議において次月以降の重点行動の確認 を行いました。

8.2 経営者による評価

経営者による評価

2022 年(77 期)環境経営目標の達成状況は、概ね活動の成果が出ていると判断いたしました。77 期は環境活動への取り組みに若手社員を中心とした EA21 推進委員の活動が大きく貢献したことが成果に繋がりました。

その中で、注視しなければならない項目としてガソリン使用料が急激に増えていることは環境側面から、過去の実績からもたらす数値も 異常値を示している状況を見逃さず、よく分析し早急に是正していく必要があります。

八戸事業所全体の電力量はあらたに稼働した第二工場による電力量増加が予想される中で、将来構想においてソーラー等の新設備導入や環境配慮型機器の更新、特に工場創業時から使用している古いエアコンの老朽更新は急務と考えております。社員全員が削減を意識した活動の中で CO2排出削減の効果を出せるよう、さらなる目標達成に努めていきます。

環境活動はスローガンに掲げた「私たちは、CO₂排出ゼロを目指します」をもと展開しており、2030 年までに達成するロードマップを描いております。

全社員ひとり一人の取り組み、意識の持ち方で CO2は年々減少傾向にあり、環境経営計画の実施を全社・全員参加のもとで実効性のある活動を行っていきます。

8.3 経営者による見直し指示

項目	評価		見直し指示内容
環境経営方針	活動の展開において、環境経営方針 に沿った活動となっていることを確認し ました。	0	環境方針 2 項の表記について見直しして下さい。(審査時の対応)
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標の達成状況は、概ね 活動の成果が出ていると判断します。	Δ	ガソリン使用料が急激に増えていることは環境側面から、過去の実績からもたらす数値も異常値を示している状況を見逃さず、よく分析し、早急に是正していく必要があります。
実施体制	77 期は環境活動への取り組み体制として、若手社員を中心とした EA21 推進委員の活動が大きく貢献したこと が成果に繋がったと考えます。	0	実施体制における社長の役割について見直しして下さい。(審査時の対応)
その他	環境整備活動など継続的に実施され ていることが確認できました。	0	なし